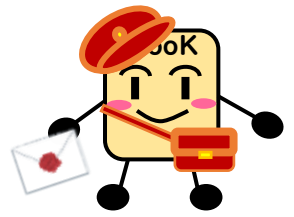


としょかん
ばらっば



4・5・6

今回のテーマ
手紙



「エドウィナからの手紙」

スーザン・ボナーズ／作 もき かずこ／訳
ナカムラ ユキ／画 金の星社 93ホ

ある日、公園のブランコが長い間
こわれたままになっていることに
気づいたエドウィナは、修理してもら
うために、市長に手紙を書くことにしま
した。しかし、子どもだと相手にして
もらえないと考え、自分と同じ名前の
大大おばさんの名前を借りて手紙を
出すことにしたのです。



「手紙で友だち北と南」

斎藤 次郎／文 山下 寅彦・嘉納 辰彦／写真
福音館書店 37サ

これは、おきなわ 沖縄県の北谷第二小学校3年1組と、北海
かいせい 道の開成小学校との間で、ファクシ
ミリりようを利用した、一年間の手紙の
交換こうかんを記録した本です。

沖縄県の慰霊の日や北海道の
農作業、お互いの運動会など、二校
のやり取りを見てみましょう。



「郵便屋さんの話」

カレル・チャペック／作 関沢 明子／訳
藤本 将／画 フェリシモ 98チ

夜の郵便局で小人たちが働い
ていることを知った郵便局員の
コルパバさん。小人の持つ、封筒
の外から手紙の内容がわかる
能力のうりよくを使って、宛名あてなのない手紙を
届けることを思いつきました。



「知ってる？郵便のおもしろい歴史」

郵政博物館／編著 少年写真新聞社 69シ

郵便という通信手段の仕組みはどのようにして
できたのでしょうか？この本ではその歴史を、
郵便いぜんが生まれる以前の通信について
と、近代郵便たんじょう はってんの誕生と発展とに分けて
紹介しています。

図書館には、日本の近代郵便の
成立せいりつに大きく貢献した人物である、
前島密まへじまひそかの伝記でんきもあります。あわせて
読んでみてください。



「手紙を書こう！ はじめての手紙」

山崎 順子／監修 鈴木出版 81テ1

手紙の内容や書く上でのルール、
郵便についてのQ&Aなど、はじめて
手紙を書くときに、助けてくれる
一冊さつです。

工夫をこらした手紙のアイデアや
作り方も紹介しているので、手紙を
出すときの参考さんこうにしてみてくださいはいかが
でしょうか？



☐の中の記号は、本の背表紙
についているラベル(請求記号)です。



新しい本を ピックアップ!

「おじいちゃんの日ぼくの目」

パトリシア・マクララン／作 若林 千鶴／訳 黒井 健／絵
リーブル 933マク

ジョンのおじいちゃんは目が見えません。音やにおい、手で世界をみます。「目をとじてみて、ジョン」そう言われて目をつむれば、おじいちゃんが見ている世界がみえてきます。



「みんなが知りたい!日本刀のすべて 世界に誇る刀剣の歴史と見どころがわかる」

「日本刀のすべて」編集室／著 メイツユニバーサルコンテンツ 756ミ

日本が世界に誇る文化、日本刀。その歴史から造り方、有名な刀を手がけた人まで解説します。織田信長の愛刀・庄切長谷部や、徳川家康が所持していたソハヤノツルキ、新選組の土方歳三が愛用していた和泉守兼定など、日本刀にまつわるさまざまな物語を紹介しつづけます。



「AIの世界へようこそ 未来を変えるあなたへ」

美馬 のゆり／著 Gakken
007ミ

最近よく耳にする「AI(人工知能)」について、みなさんはどのくらい知っていますか?

生活をサポートしてくれる便利な技術 AIについて、みんなで考えてみましょう。



「クマが出た!助けてベアドッグ クマ対策犬のすごい能力」

太田 京子／著 岩崎書店 654オ

ベアドッグとは、クマ対策のために訓練を受けた犬のことです。ベアドッグであるタマの仕事は、人里に下りてきた野生のクマを森へ追い返すこと。軽井沢に暮らす人々の生活を守るため、そしてクマの命を守るため、タマは今日も走ります。



「ふしぎなチカラをもっているハーブの世界」

真木 文絵／著 村上 志緒／監修 岩崎書店 499マ

お茶や料理に使うことの多い、ハーブ。なかでも、ラベンダーやカモミールの名前を聞いたことがある人は多いのではないのでしょうか。実は たんぽぽやイチョウもハーブの仲間。

他にはどんな植物があるのでしょうか。身近でふしぎなハーブの世界を、のぞいてみましょう。



図書館の利用案内

★ 1人10冊 2週間かりられます。

★ 午前9時から午後8時まで開いています。

★ お休みは、月曜日などです。

図書館カレンダーやホームページで確認してください。

中央図書館 047-475-3213

学校電子図書館「ナラシド♪ライブラリー」でも人気の集英社みらい文庫「ラストサバイバル(大久保 開/作)」「渚くんをお兄ちゃんとは呼ばない(夜野 せせり/作)」「絶望鬼ごっこ(針 とら/作)」や、講談社青い鳥文庫の「6年1組黒魔女さんが通る(石崎 洋司/作)」「夜カフェ(倉橋 燿子/作)」などの続きが読みたいときは図書館で借りよう。貸出中のときは予約をしたり、図書館にない本もリクエストができるよ。